
2013年3月期
(2012年1月21日～2013年3月31日)

決算参考資料

2013年5月13日

(株) サガミチェーン

東証・名証1部上場 コード:9900

設立：1970年3月

資本金：63億300万円

株式会社サガミチェーン

目 次

1. 連結対象企業の事業内容	_____	P2
2. 2013年3月期の業績概況	_____	P3
3. 財政・キャッシュフローの概況	_____	P3
4. 店舗展開の状況	_____	P4
5. 2013年3月期の業績について	_____	P5
6. 2014年3月期の業績予想	_____	P6

1. 連結対象企業の事業内容

○連結子会社の対象範囲は5社であります。

[連結子会社]

名称	住所	資本金又は 出資金 (千円)	事業の内容	議決権の 所有割合 (%)
株式会社ディー・ディー・エー	名古屋市	200,000	飲食店の経営 フランチャイズ店舗への 材料提供及び経営指導	100.0
株式会社サガミサービス	名古屋市	10,000	損害保険及び生命保険の 代理業務 店舗設備のメンテナンス 業務	100.0
株式会社エー・エス・サガミ	名古屋市	70,000	飲食店の経営 輸出入業務	100.0
上海盛賀美餐飲有限公司	中国上海市	260,000	飲食店の経営	93.4
Sagami International Co.,Ltd.	Hong Kong	10,000香港 ドル	海外事業の統轄 飲食店の経営	100.0

○Sagami International Co.,Ltd. は、更なる東アジア地域での事業拡大、および成長戦略を推し進めていくために、2012年10月22日に設立いたしました。

○株式会社エー・エス・サガミは、2013年4月1日に株式会社サガミフードと社名を変更いたしました。

2. 2013年3月期の業績概況

○連結ベースの経営成績

単位：百万円/円

	2012年 1月期	2013年 3月期 第4四半期 12ヶ月参考値	前年比 (%) 12ヶ月参考値	当初計画 2012年3月1日 発表	業績予想 2013年4月8日 発表	2013年 3月期	当初計画 差異
売上高	19,561	19,153	97.9%	21,600	22,485	22,599	999
営業利益	43	651	1513.9%	280	540	656	376
経常利益	46	666	1447.8%	270	555	672	402
当期純利益	△742	497	—	160	370	447	287
一株あたり 当期純利益	△30.44	20.41	—	6.56	15.12	18.27	11.71

*当初計画とは、年初（2012年3月1日）に発表した通期計画です。

○単体ベースの経営成績

単位：百万円/円

	当初計画 2012年3月1日 発表	2013年 3月期	当初計画 差異
売上高	17,000	17,966	966
経常利益	390	624	234
当期純利益	300	470	170
一株あたり 当期純利益	12.30	19.24	6.94

*当初計画とは、年初（2012年3月1日）に発表した通期計画です。

3. 財政・キャッシュフローの概況

○連結財政状態

単位 (百万円/%/円)	2012年 1月期	2013年 3月期
総資産	15,078	15,237
純資産	9,324	10,405
自己資本比率	61.8	68.2
一株あたり 純資産	382.44	416.18

○連結キャッシュフローの状況

単位 (百万円)	2012年 1月期	2013年 3月期
営業活動によるキャッシュフロー	589	281
投資活動によるキャッシュフロー	114	△301
財務活動によるキャッシュフロー	△300	92
現金及び現金同等物 期末残高	3,017	3,118

○設備投資について

連結設備投資は549百万円（2012年1月期実績214百万円）となりました。

○減価償却費について

減価償却費は449百万円（2012年1月実績427百万円）となりました。

4. 店舗展開の状況

	2012年 1月期	2013年 3月期			2014年 3月期計画		
	店舗数	出店	閉店	店舗数	出店	閉店	店舗数
サガミ	130	—	3	127	3	—	130
どんどん庵	63	1	17	47	4	4	47
あいそ家	13	1	2	12	2	2	12
製麺大学	4	—	—	4	—	—	4
盛賀美	1	2	—	3	—	—	3
上海盛賀美	6	1	3	4	1	—	5
その他 国内	7	4	1	10	2	2	10
その他 海外	—	—	—	—	3	—	3
合計	224	9	26	207	15	8	214

○2013年3月期末の「その他 国内」店舗について

その他10店舗は、さがみ庭、もんぺとくわ江南店、新城PA陣屋サガミ、フランチャイジーの丸源ラーメン3店舗・かつや2店舗・たい夢2店舗であります。

○「その他 海外」店舗について

2013年2月26日～3月31日の期間、インドネシアの大型ショッピングモール「Plaza Senayan」にて、テストマーケティングを実施いたしました。2014年3月期にはASEAN諸国への出店を計画しております。

○2013年3月期の出店状況について

2012年3月に低採算の和食麺処サガミの業態転換モデルとして「もんぺとくわ江南店」、低採算及び不採算のどんどん庵の業態転換モデルとして「あいそ家平子橋食堂」、2012年4月にフランチャイジーとして「かつや日進店」、「丸源ラーメン河内天美店」を開店いたしました。また同4月に「上海盛賀美延安西路店」を新規出店、2012年7月に当社で初となる高速道路に「新城PA陣屋サガミ」、2012年8月に「上海福州路店」を移転、2012年11月には東京青山に「盛賀美青山店」を新規出店いたしました。2012年12月には、どんどん庵からの業態転換として「まるど食堂上田楽店」を開店いたしました。2013年3月にはサガミから業態転換として「盛賀美小田原店」を開店いたしました。

○2013年3月期の閉店状況について

2013年3月期は全業態で26店舗の業態転換を含む閉店をいたしました。最も多く業態転換及び閉店をした業態は「どんどん庵」であり、2012年3月1日発表の予定閉店店舗数を9店舗上回っておりますが、これは不採算店舗の閉鎖計画を前倒して行ったことによるものであります。

○2014年3月期の国内店舗展開の計画について

主力業態であります「和食麺処サガミ」は、14ヶ月11日間の決算で、127店舗全店で店舗段階黒字化いたしました。2014年3月期は、「和食麺処サガミ」の5年ぶりの再出店を予定しております。また特殊立地やショッピングモール内への出店も計画しております。

5. 2013年3月期の業績について

*決算期の変更に伴い、第43期は2012年1月21日から2013年3月31日までの14ヶ月11日間の決算期間となっております。前年同期比は2013年3月期第4四半期（12ヶ月ベース）の数値をもって比較しております。

- (1) 2013年3月期の連結業績につきましては、当初計画に対し増収・増益となりました。経常損益では連単共に2期連続、当期純損益では連単共に6期ぶりの黒字となります。
- (2) 主力業態であります「和食麺処サガミ」は、127店舗全店、店舗段階で黒字化となりました。決算時の既存店が全て店舗段階で黒字になったのは、株式上場以来初めてとなります。
- (3) 主力業態「和食麺処サガミ」の既存店の状況につきましては、第4四半期（12ヶ月ベース）で、客数が前年同期比で0.8%の減少となりましたが、客単価が前年同期比で2.3%増となった結果、売上高は前年同期比で1.5%の上昇となりました。
通期では、客数が前年同期比で0.6%減少、客単価が前年同期比で1.7%増、売上高は前年同期比で1.1%の上昇となりました。
- (4) 主力業態「和食麺処サガミ」の既存店売上原価率は、メニュー政策および販売政策の見直しなどにより、第4四半期（12ヶ月ベース）で前年同期比0.9%減の30.1%となりました。また、人員配置の適正化などの継続的な削減計画を実施した結果、第4四半期の前年同期比でFLR（食材費・人件費・賃料）比率が2.0%改善いたしました。
- (5) 2013年3月期の単体経常利益は当初計画に対し234百万円の増益となりました。また単体当期純利益は、当初計画に対し170百万円増益の470百万円となりました。これは売上原価率の改善と人件費及び物件費の改善などによるものであります。

*当初計画とは、年初（2012年3月1日）に発表した通期計画です。

○2013年3月期の主な取り組み

- ☆和風ビュッフェ『もんぺとくわ』を2012年3月14日に愛知県江南市に出店
- ☆相模女子大様とコラボメニュー開発販売
- ☆主力業態『和食麺処サガミ』全店で2012年3月22日から6日間 春の大感謝祭を実施
- ☆上海100人研修を2012年5月10日から2013年3月20日にかけて実施
- ☆凍結含浸法を用いた食材を使用した やわらか食『銀扇御膳』を販売
- ☆高速道路新城PAに『陣屋サガミ』を2012年7月13日に出店
- ☆主力業態『和食麺処サガミ』全店で2012年7月13日から6日間 夏の大感謝祭を実施
- ☆執行役員制度を2012年7月21日より導入
- ☆『冷やしみそ煮込』『ピリ辛冷やしみそうどん』を2012年8月8日より全店で販売
- ☆海外子会社（香港）Sagami International Co., Ltd. を2012年10月18日に設立
- ☆物流センター飛島工場内に、2012年11月21日にカット野菜工場を設立
- ☆主力業態『和食麺処サガミ』全店で2012年11月22日から6日間 冬の大感謝祭を実施
- ☆東京青山に十割そばと串揚げ料理の『盛賀美青山店』を2012年11月28日に新規開店
- ☆どんどん庵の業態転換モデルとなる『まるど食堂』上田楽店を2012年12月13日に開店
- ☆第三者割当による自己株式の処分を2013年1月24日に実施
- ☆梅森坂店でサガミで初のパン・コーヒーモーニングを2013年1月21日より開始
- ☆3月25日『サガミのみそ煮込の日』8月3日『サガミの八味唐がらしの日』として
日本記念日協会に登録
- ☆石臼処のネーミングライツを2013年2月1日から1ヶ月間販売
- ☆主力業態『和食麺処サガミ』全店で2013年3月21日から6日間 春の大感謝祭を実施

6. 2014年3月期の業績予想

○連結ベースの業績予想

単位 (百万円/円)	2013年 3月期 (14ヶ月11日間)	2014年 3月期(予) (12ヶ月)
売上高	22,599	19,400
営業利益	656	635
経常利益	671	650
当期純利益	447	465
一株あたり 当期純利益	18.27	18.62

○単体ベースの業績予想

単位 (百万円/円)	2013年 3月期 (14ヶ月11日間)	2014年 3月期(予) (12ヶ月)
売上高	17,966	16,000
営業利益	618	610
経常利益	624	610
当期純利益	471	440
一株あたり 当期純利益	19.24	17.62

○連結ベースの業績予想について

- 今後のわが国経済は、所得増に向けた各種政策が家計消費の増加、景気回復に繋がるという将来への期待から、個人消費や雇用情勢に底堅さが見られるものの、2014年4月に導入が予定されている消費増税を見据えた厳しい経営環境が予想され、また円安に依る輸入食材の値上がり、電気料金などの値上げや不安定な欧州経済など、国内外の問題から先行き不透明感が漂う状況が続くものと認識しております。
- 2013年3月期の主力業態「和食麺処サガミ」の店舗段階全店黒字化を以って、全社ビジョン「No.1 Noodle Restaurant Company」の実現に向け次の段階に進む準備が整いました。

今後は、既存店の収益力の向上を図りつつ積極的に国内外への出店を進めてまいります。また、産学連携によるメニューの開発や、減塩メニューなどの開発、テイクアウトやデリバリーの研究を引続き行ってまいります。
- 設備投資につきまして、2014年3月期は、海外を含め9店舗の新規出店費用と既存店の改装費用として総額760百万円を計画しております。
- 2013年3月期は決算期の変更により、14ヶ月と11日間の決算となりました。12ヶ月ベースである2013年3月期 第4四半期と比較しますと、2014年3月期の連結業績予測は、売上247百万円増、営業利益16百万円減、経常利益16百万円減、当期純利益32百万円減を予測しております。これは円安による仕入れ価格の上昇と、電気料金などの値上げを見込んだものであります。
- 2014年3月期予測は、2012年3月1日に発表いたしました中期経営計画を上回る予測となっております。これは、中期経営計画を2014年3月期を待つことなく、2013年3月期に達成することができたためであります。2015年3月期の予測につきましては、為替の変動による仕入れ価格の動向や、電気料金の動向が不透明なため、発表を差し控えさせていただきます。

※業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

ディスクロージャーポリシー (Disclosure Policy)

(1) 基本方針

サガミグループは、「食文化を通じて地域社会に奉仕する」「企業を通じてお客様に奉仕する」「『食』と『職』の楽しさを創造する企業」という経営理念のもと、すべてのステークホルダーに対し、透明性、公平性、継続性を基本に証券取引法及び上場取引所の定める法令・規則を遵守し、タイムリーな情報提供に努めます。

(2) 情報開示の方法

東京証券取引所が定める適時開示規則に該当する情報の開示は、同取引所へ事前説明後、同取引所の提供する適時開示電子情報システム (TDnet : Timely Disclosure Network) に登録し提供しています。TDnet 公開後、すみやかに報道機関に同一情報を提供するとともに、当社ホームページへも掲載いたします。ただしシステムの都合上、これら情報の当社ホームページへの掲載が遅れることもあります。

また、適時開示規則に該当しないその他の情報につきましても、適時開示の趣旨を踏まえて適切な方法により正確かつ公平に開示する方針です。

(3) 業績予想および将来の見通しについて

サガミグループの計画・将来の見通し・戦略などのうち、過去または現在の事実に関する以外は、将来の業績に関する計画や見通しであり、これらは現時点で入手可能な情報による判断に基づいております。

したがって、将来の業績等につきましては、様々なリスクや不確定要素の変動および経済情勢の変化などにより異なる場合があります。

(4) 沈黙期間について

サガミグループは決算情報の漏洩を防ぎ、公平性を確保するため、決算発表日の一ヶ月間前の一定期間を「沈黙期間」としております。この期間は、決算に関する質問への回答やコメント、IR活動を控えることとしております。ただし、この沈黙期間中に業績予想を大きく変動する見込みが発生した場合には、開示規則に従い適宜公表いたします。

なお、沈黙期間であっても、すでに公表されている情報に関する範囲のご質問等につきましては対応いたします。

(5) ディスクロージャーポリシーの遵守

サガミグループは、「企業の社会的責任 (CSR)」の観点からもグループの役職員全員に上記のディスクロージャーポリシーを周知徹底し遵守します。